

## ワイカト大学夏期語学研修 2025 報告書

留学先大学（国名）	国立ワイカト大学（ニュージーランド）
短期研修プログラム	ワイカト大学夏期英語研修
研修期間	2025年8月8日～2025年9月14日

### 1. 留学前の準備について（応募動機、申込み手続き、語学対策など）

応募動機：大学時代に留学をしたいとは考えていて、大学のプログラムを活用した方が安心だと考えたため。ニュージーランドは比較的治安が良く英語圏の国であるため、安全に英語力向上の機会を得られると考えた。

語学対策：直前にオールイングリッシュでスピーキング中心の授業を取った。しかしそれだけでは使える英語力にはならず、もっと対策しておけばよかったと後悔した。

### 2. 研修内容や大学（授業内容、形態、学生同士の交流、アクティビティ等）

授業内容・形態：授業はスピーキング中心。先生によって様々だが、私の先生は午前中にリスニングとリーディングをして毎日記録した。図書館に行って本を読むときもあった。金曜日はほぼ必ずスピーチかプレゼンがあった。外でフリスビーをしたりボードゲームをたくさんしたりする先生もいるので、授業が自分のレベルに合わないと感じたら積極的にレセプションの方に相談した方が良い。

学生同士の交流：基本は同じ大学の友達で仲良くしている印象。しかし私は一人だったので、同じ日に来た日本人と特に仲良くしていた。授業で関わる機会もあるので、友達は作れる。

アクティビティ：一度学校が斡旋しているロトルアのツアーに参加した。一人二万円程度で、学校からバスが出ていて一日楽しめる（ランチ付き）。それ以外の休日は自分達で交通手段を調べて色々な所に行った。

3. 生活（住環境、食生活や健康管理、危機管理、持参してよかったもの）

<p>ホストファミリーについて</p>	<p>とても優しい人たちだった。みんなでご飯を食べるときは英語が速すぎて理解できなかったが、ホストマザーとファザーと私だけのときは、私が英語で上手く話せなくても丁寧に聴いてくれた。ホストファザーとキリスト教や世界情勢、経済のことなどを話せて楽しかった。火水木の朝はホストファザーが学校まで送ってくれたので、その時間もゆっくり英語を話す良い機会となった。23歳のホストシスターとは、あまり仲良くなれなかった。到着したときはとても寒くて大変だったが、だんだん暖かくなっていき過ごしやすくなった。私は土日に友達との予定を先に入れてしまっていたので、ホストファミリーと出かけることはなかった。とても敬虔なクリスチャンだったので、日曜日は一緒に教会に行った。</p>
<p>食事、健康管理</p>	<p>基本パン、ポテトが主食なので、嫌になる。私は一切持っていかず後悔したので、日本食を少しは持っていくと良い。しかし持って行かなくても学校の誰かが持っているのも、もらうことは可能。現地の寿司は寿司ではないので、日本の味が恋しくなったら寿司ではなくラーメンがおすすめ。お金はかかってしまうが、日本食レストランはたくさんある。到着した直後と、季節の変わり目だったので風邪をひく人が多かった。風邪薬・のど飴は持っていった方が良い。</p>
<p>持参してよかったもの (理由)</p>	<p>折り畳み傘（雨が降るので、必ずいる。カッパはいらない。）          アナログな腕時計（普段腕時計を付けている人は、時刻が変更できるアナログな腕時計が持っていくと良い）          置き時計（部屋に時計がないことが多いので、すぐに時間を確認できる置き時計は便利。目覚まし時計でもいいかも）          500ml くらいの水筒（ニュージーランドでは給水できる場所がたくさんあるので、水筒はマスト。現地でも買える。ペットボトルの水はとても高い）</p>
<p>危機管理 (危険な目に遭わないために気をつけていたこと、少しでも危険を感じたことなど)</p>	<p>危険を感じたことはない。治安がとてもいいので過度に不安になりすぎる必要はないと思うが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜道を一人で歩かない</li> <li>・そもそも一人で行動しない</li> <li>・大学内でも荷物を置きっぱなしにしない</li> <li>・財布に鞆と繋いだチェーンを付ける</li> </ul> <p>などの基本的な対策はしておくべきだと感じた。</p>

研修費用および金銭管理について（さしつかえなければ、おおよその金額を教えてください）

項目	金額	備考
航空運賃	200,000 円	
海外旅行保険	15,000 円	
研修費用	500,000 円 0 円	入学登録料, 授業料, ホームステイ, 空港送迎料, 大学学生保険等を含む。
滞在費	0 円	ホームステイ
食費	5,000 円	
交通費	10,000 円	
その他（小遣い, 通信費など）	40,000 円	
合計		770,000 円

★思い出になったエピソードを自由にお書きください。

（写真を添付して、その様子の説明をご記入ください \*ここに貼り付けなくても OK です）

ロトルアのツアーでは、羊と触れ合ったり、マオリのハカを見学できたり、坂道を滑り降りるルージュを体験できたりした。移動のバスでも車窓からは牛や羊がたくさん放牧されていて、ニュージーランドを感じることができて良かった。

オークランドへ観光に行くために、唯一電車に乗った。オークランドではスカイタワーとオークランドミュージアムに行った。楽しかった。

オトルハンガという所にも行って、生でキウイを見た。意外に大きくて、可愛かった。

大学のイベントで、巻き寿司を作るボランティアに参加した。私のテーブルには中国、インド、バングラデシュ出身の人がいて、私の英語力を褒めてもらったので嬉しかった。

ハミルトンガーデンは世界各国をイメージした庭があって、とても綺麗で広くて、楽しめる。ハミルトン居住者は無料なので、私は滞在中に二回行った。

毎週金曜日は上のお姉さんが家に子どもを連れて来て、映画を見ながら一緒にピザを食べた。子どもは可愛いし、子供向けの映画は英語字幕付きなら理解できて、その時間が好きだった。

★次年度の参加者へ向けてのメッセージをお願いします！

誤解を恐れずに言えばニュージーランドは期待を全て下回ってくるので、期待しない方がいいです！午後5時にお店が閉まるし、最終のバスは6時です。大きなスーパーを除いて日曜日もやっていません。夜と日曜日は何もできないので、日本の生活に慣れていると不便に感じると思います

ます。しかしなぜ日本で夜遅くまでお店を利用できるのかというと、その時間まで働いている人がいるからです。私のホストファザーは薬剤師でしたが、毎日6時半頃には帰ってきて、毎日夕食を一緒に食べました。そして土日は休みで、日曜日の午前中は教会に行きました。日曜日のお昼は、近所の人たちと一緒に少し豪華な昼食を取りました。人と人との関わりを大切にしたり、本質的な幸せとは何かを学びました。

助けを口に出すことができれば、NZの人は必ず助けてくれます。もともとNZの人は愛想が良く優しいので怖いということはないと思いますが、何らかのトラブルは起きると思います。その時に諦めず丁寧に助けを求めれば助けてくれるので、大丈夫です。